むつ中間貯蔵施設と使用済み燃料問題

2026年10月20日

原子力規制を監視する市民の会

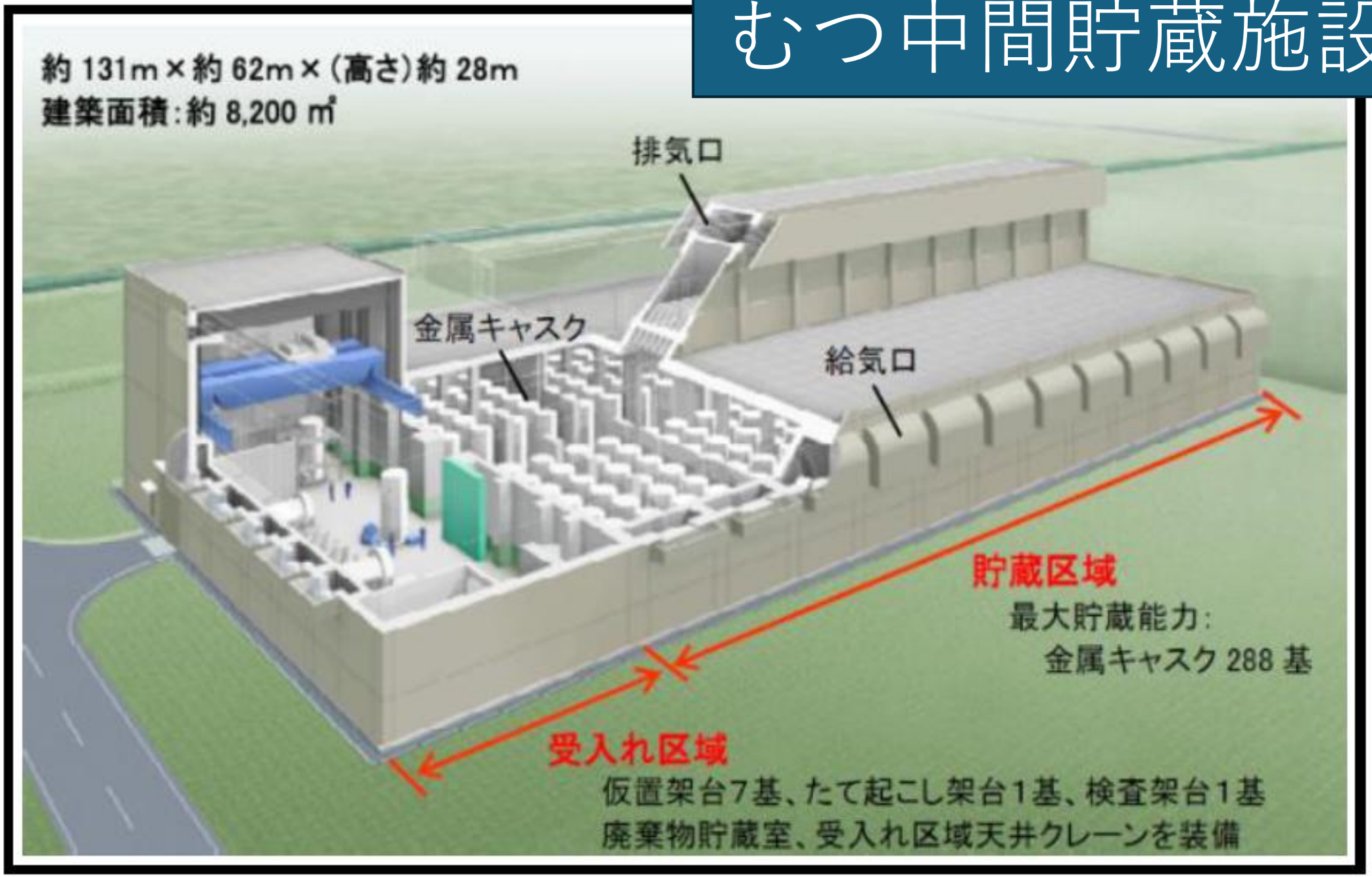
阪上　武

むつ中間貯蔵施設

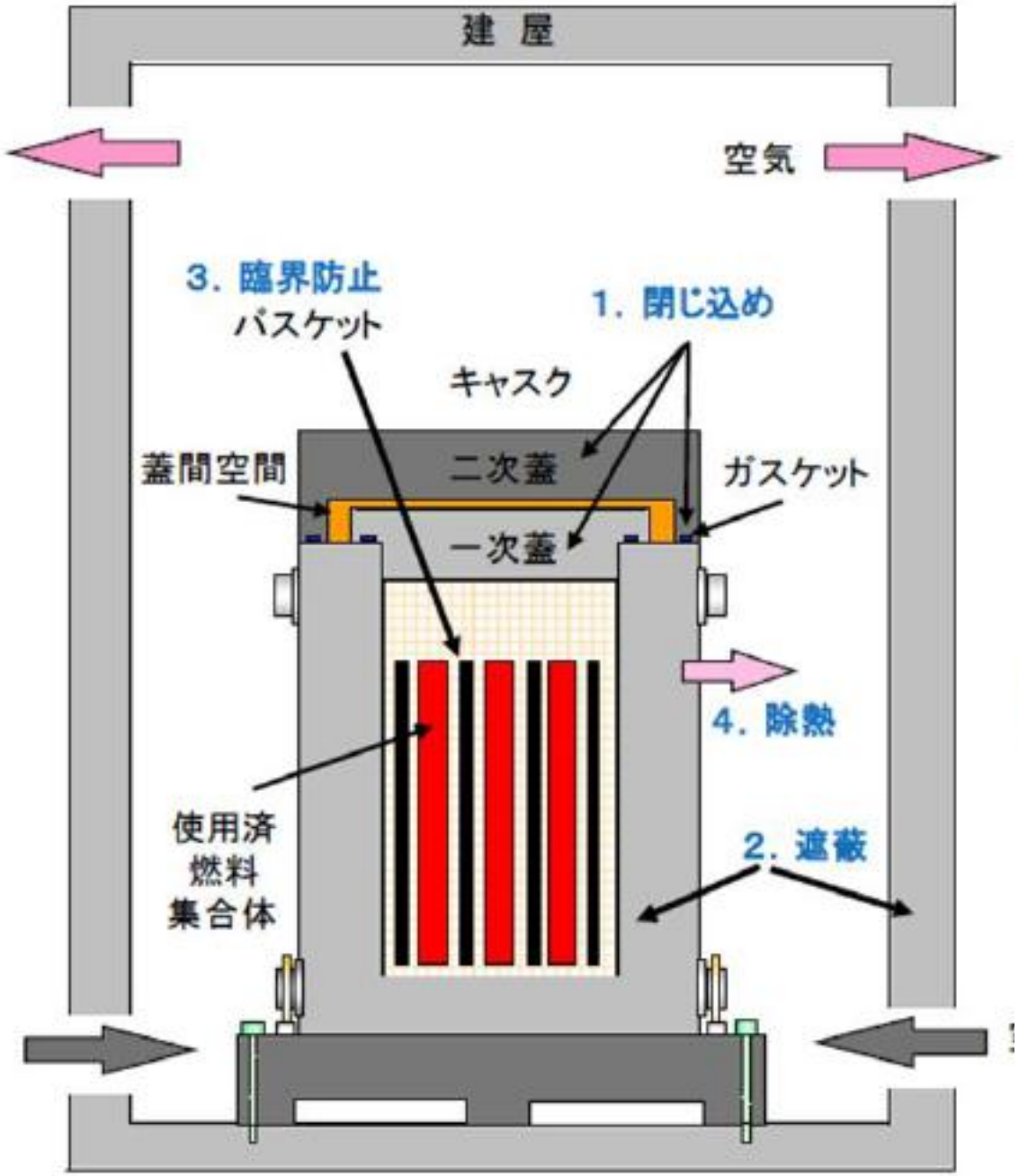


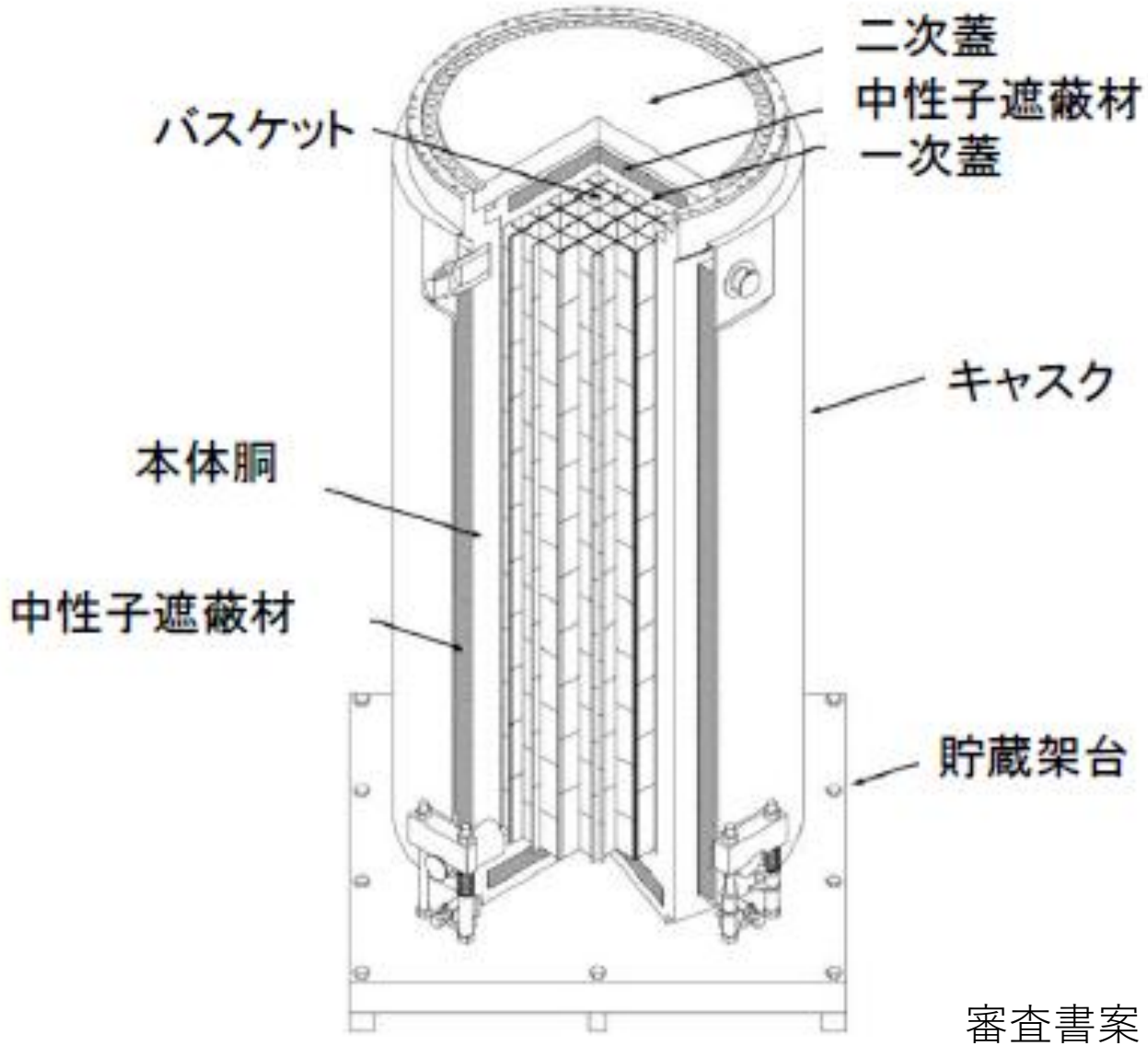
審査書案
説明資料より

むつ中間貯蔵施設



審査書案
説明資料
より


建 屋
空気
3. 臨界防止
バスケット
1. 閉じ込め
キャスク
蓋間空間
二次蓋
ガスケット
一次蓋
4. 除熱
使用済
燃料
集合体
2. 遮蔽


二次蓋
中性子遮蔽材
一次蓋
バスケット
キャスク
本体胴
中性子遮蔽材
貯蔵架台

審査書案
説明資料より

搬入の実績

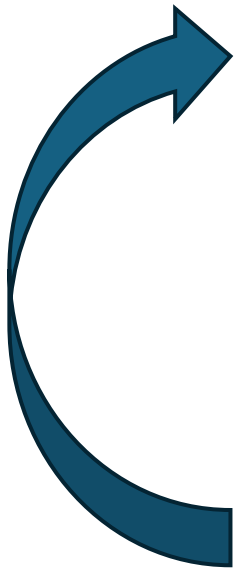
- **第1回搬入（2024年9月24日～26日）**
  - **出荷元**: 東京電力柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）4号機
  - **数量**: 使用済み燃料69体（金属製専用容器「キャスク」1基分、約12トン）

- **第2回搬入（2025年10月24日～28日）**
  - **出荷元**: 東京電力柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）4号機
  - **数量**: 使用済み燃料138体（キャスク2基分、69体×2基）
  - **累計貯蔵数**: 合計207体（ウラン重量約36トン）

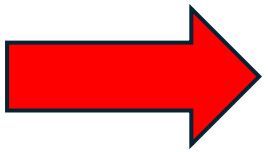
リサイクル燃料貯蔵HPより

柏崎刈羽原発使用済み燃料の貯蔵率

号機	貯蔵率
1 号機	91%
2 号機	71%
3 号機	69%
4 号機	68%
5 号機	80%
6 号機	93%
7 号機	97%
合計	81%



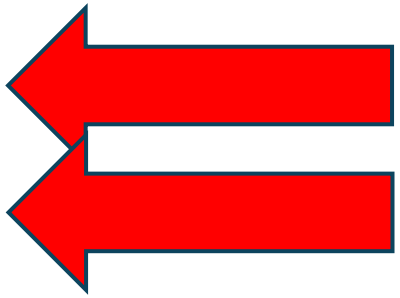
号機	貯蔵率
1 号機	91%
2 号機	71%
3 号機	91%
4 号機	59%
5 号機	80%
6 号機	88%
7 号機	83%
合計	80%



むつへ

号機	貯蔵率
1 号機	91%
2 号機	71%
3 号機	69%
4 号機	68%
5 号機	80%
6 号機	93%
7 号機	97%
合計	81%

柏崎刈羽原発 使用済み燃料 の貯蔵率



再稼働
再稼働予定

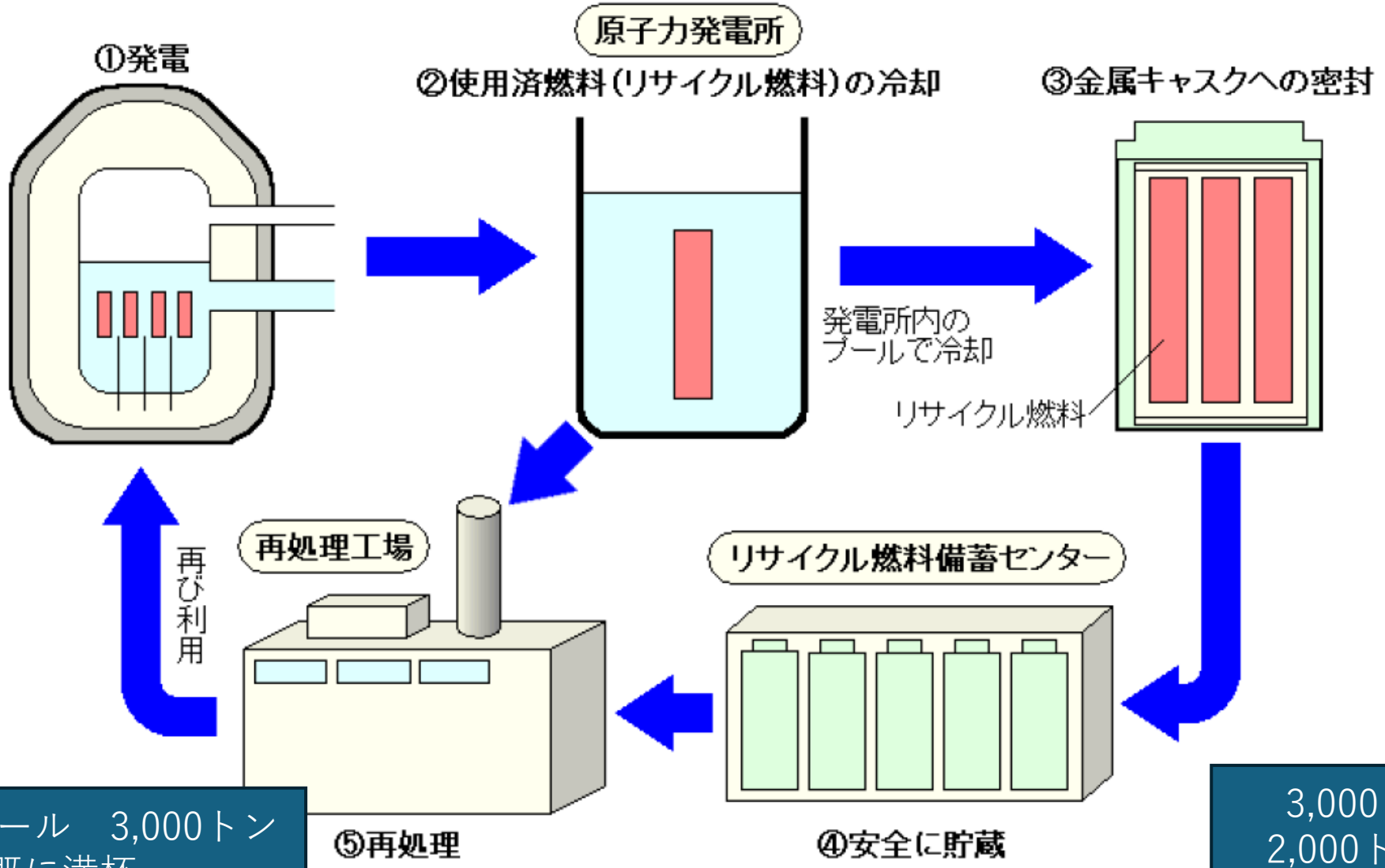
搬入阻止の取組み




東電は むつ中間貯蔵施設への
使用済み核燃料の搬入やめて!
核のゴミの発生者として責任を果たせ!


東電は むつ中間貯蔵施設への
使用済み核燃料の搬入やめて!
核のゴミの発生者として責任を果たせ!

搬出先　第二再処理工場→六ヶ所再処理工場



受入れプール　3,000トン
既に満杯

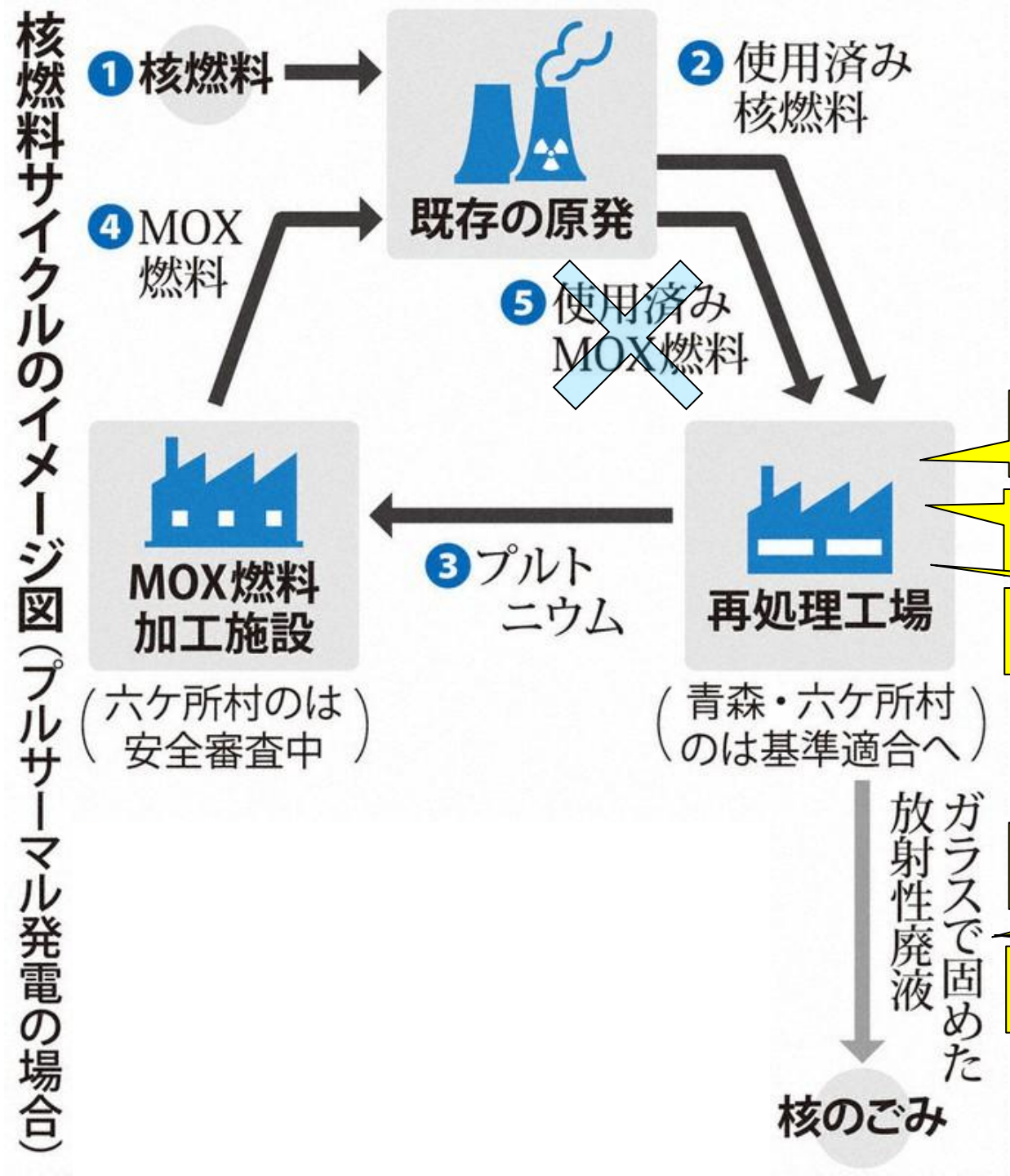
3,000トン　完成
2,000トン建設予定

六ヶ所再処理工場





朝日新聞
HPより





日常的放射能放出

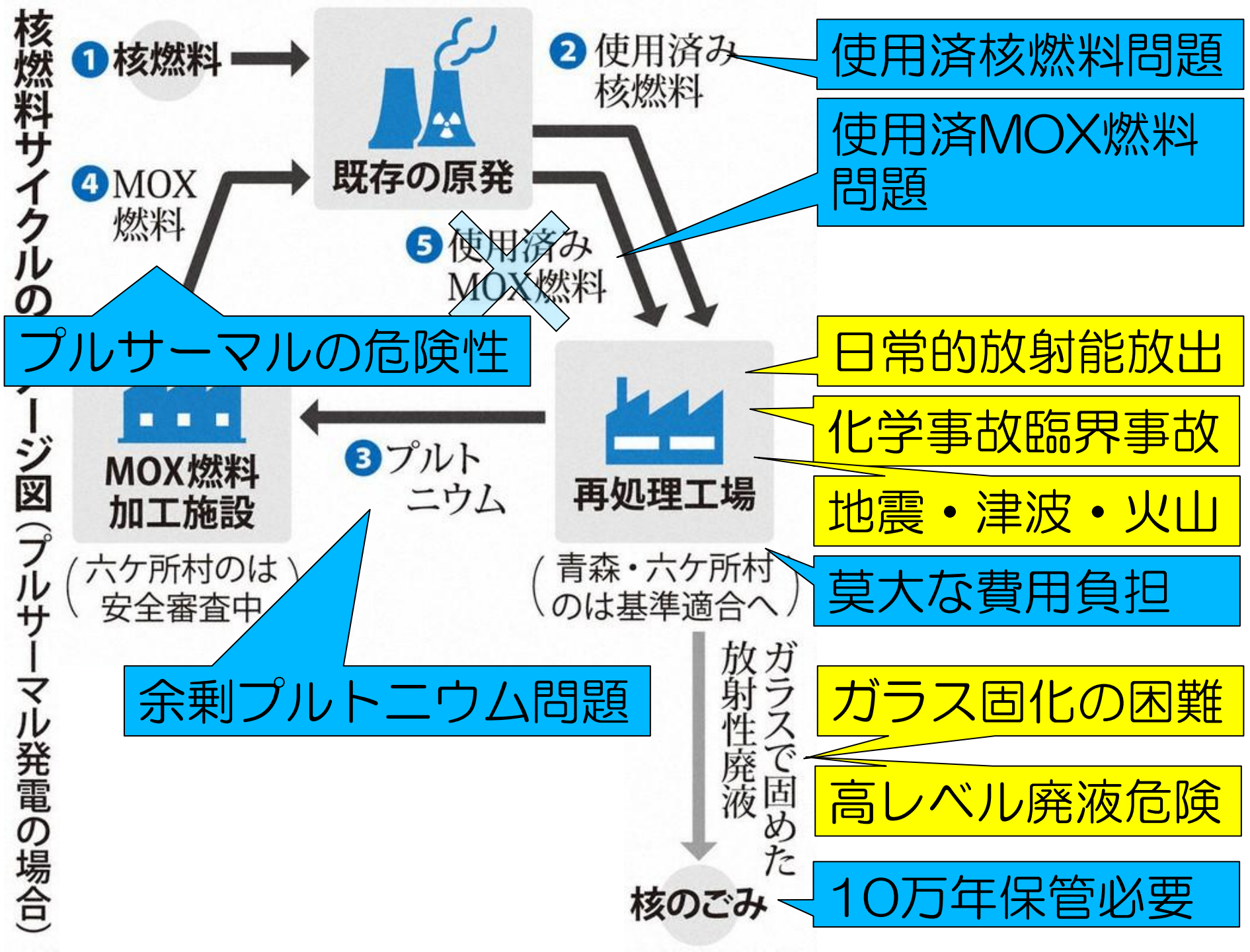
化学事故臨界事故

地震・津波・火山

ガラス固化の困難

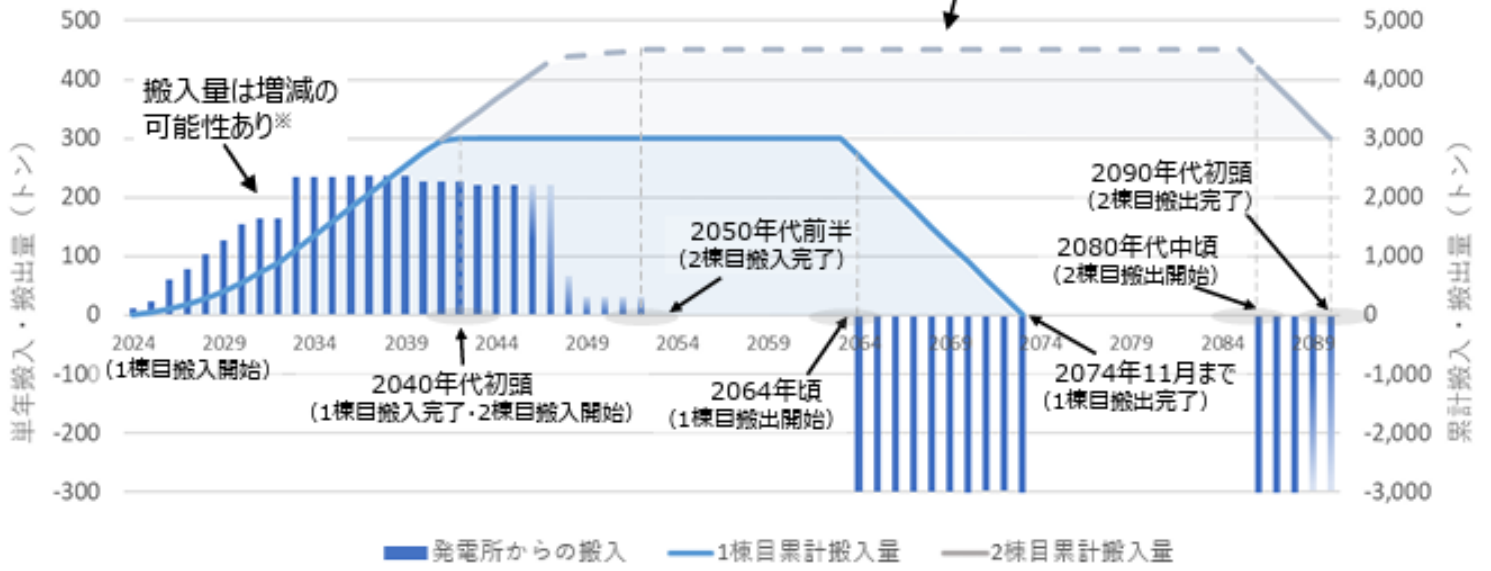
高レベル廃液危険

NHKクローズアップ現代
HPの図に加筆

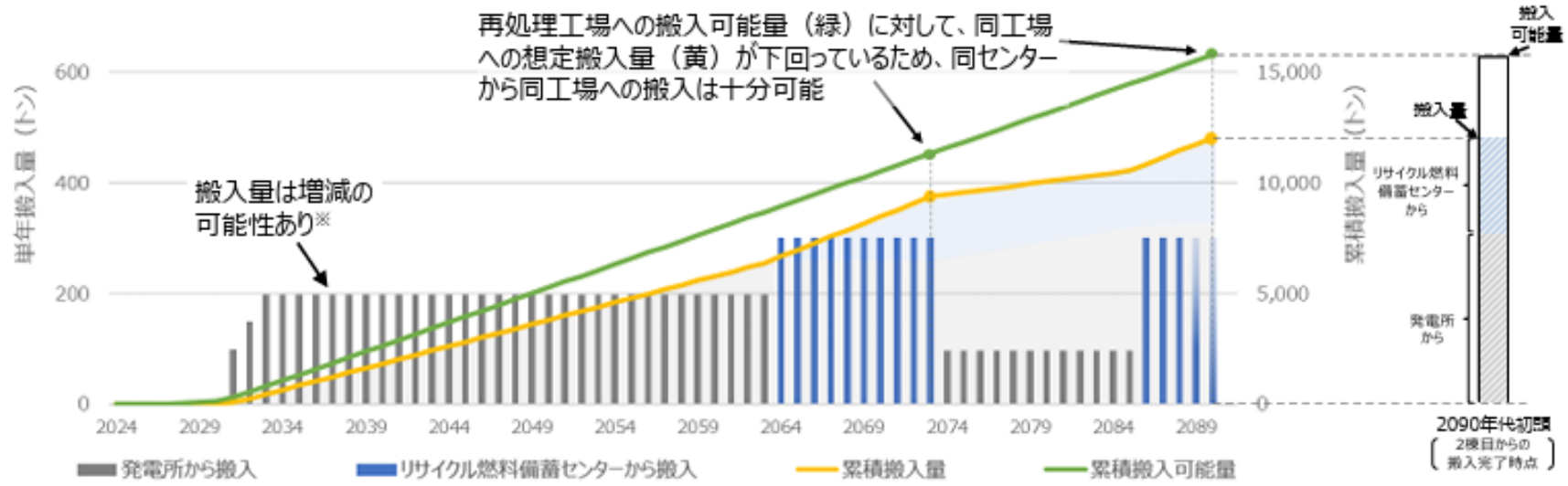

核燃料サイクルのイメージ図（プルサーマル発電の場合）
1 核燃料
既存の原発
2 使用済み核燃料
4 MOX燃料
5 使用済みMOX燃料
MOX燃料加工施設
（六ケ所村のは）安全審査中
3 プルトニウム
再処理工場
（青森・六ケ所村のは基準適合へ）
ガラスで固めた放射性廃液
核のごみ
使用済核燃料問題
使用済MOX燃料問題
プルサーマルの危険性
日常的放射能放出
化学事故臨界事故
地震・津波・火山
莫大な費用負担
余剰プルトニウム問題
ガラス固化の困難
高レベル廃液危険
10万年保管必要

60年後もフル稼働！？

RFSリサイクル燃料備蓄センターへの搬入・搬出



日本原燃再処理工場への搬入



※ 毎年の搬入量は、警備当局との調整、キャスク輸送に係る人員・資機材の確保、六ヶ所再処理工場の稼働状況や搬入量の電力間調整等によって今後増減の可能性あり。

リサイクル燃料貯蔵HPより

搬出は止まっている

核燃料搬入を巡る 県・国・事業者トップの発言

宮下宗一郎知事（3月31日）
- 中間貯蔵施設に「少なくとも現時点で使用済み核燃料搬入を認める環境にない」
- 再処理工場は「竣工が確実に遅れる」

再処理審査 原燃の説明終了（6月8日）

赤沢亮正経産相（6 月18日）



- 再処理完成に向け「官民総力を挙げた取り組みを知事に伝えたい」
- 「国として（完成への）進捗を管理」

増田尚宏・原燃社長（6 月29日）



- 26年度完成目標「しっかり守れる」
- 廃液処理が前倒しなら「竣工（時期）が少し変わってくる可能性」



宮下知事（7 月 1 日）
- 「特に何も変化はなく、部局から報告も受けていない。国から説明を私にしたいというのであれば、もちろん受ける」

搬入ストップ維持を示唆

↓

東電 7～9月核燃料搬入計画は変えず

共同通信HPより
2026.7.2

核燃料再処理工場、28回目の完成延期濃厚に　原燃が追加手続き説明

日経新聞
10/2
HPより

「地球上で一番危険なものを放置したまま」…六ケ所村「核のごみ」再処理工場、完成優先の姿勢を危ぶむ声



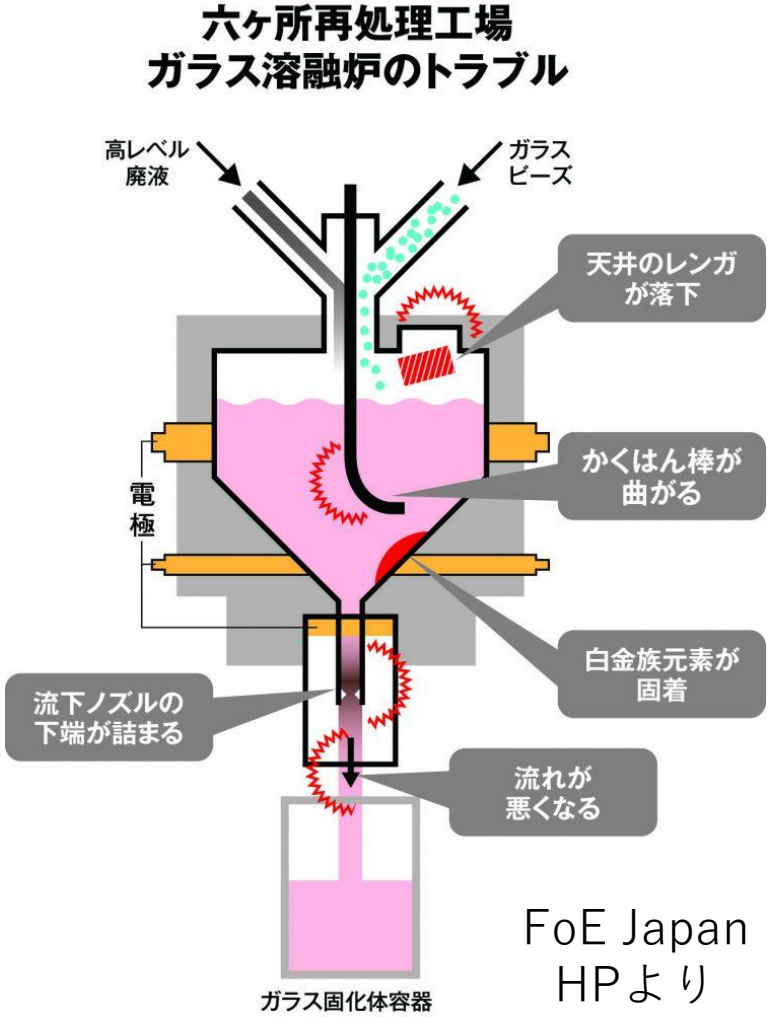


再処理工場のガラス固化問題を巡り、原子力規制庁に質問する出席者＝1日、参院議員会館で

原子力規制委員会が開いた日本原燃の再処理工場の工事計画に関する審査会合（2日、東京都港区）

日本原燃が青森県六ケ所村で建設中の使用済み核燃料の再処理工場は28回目の完成

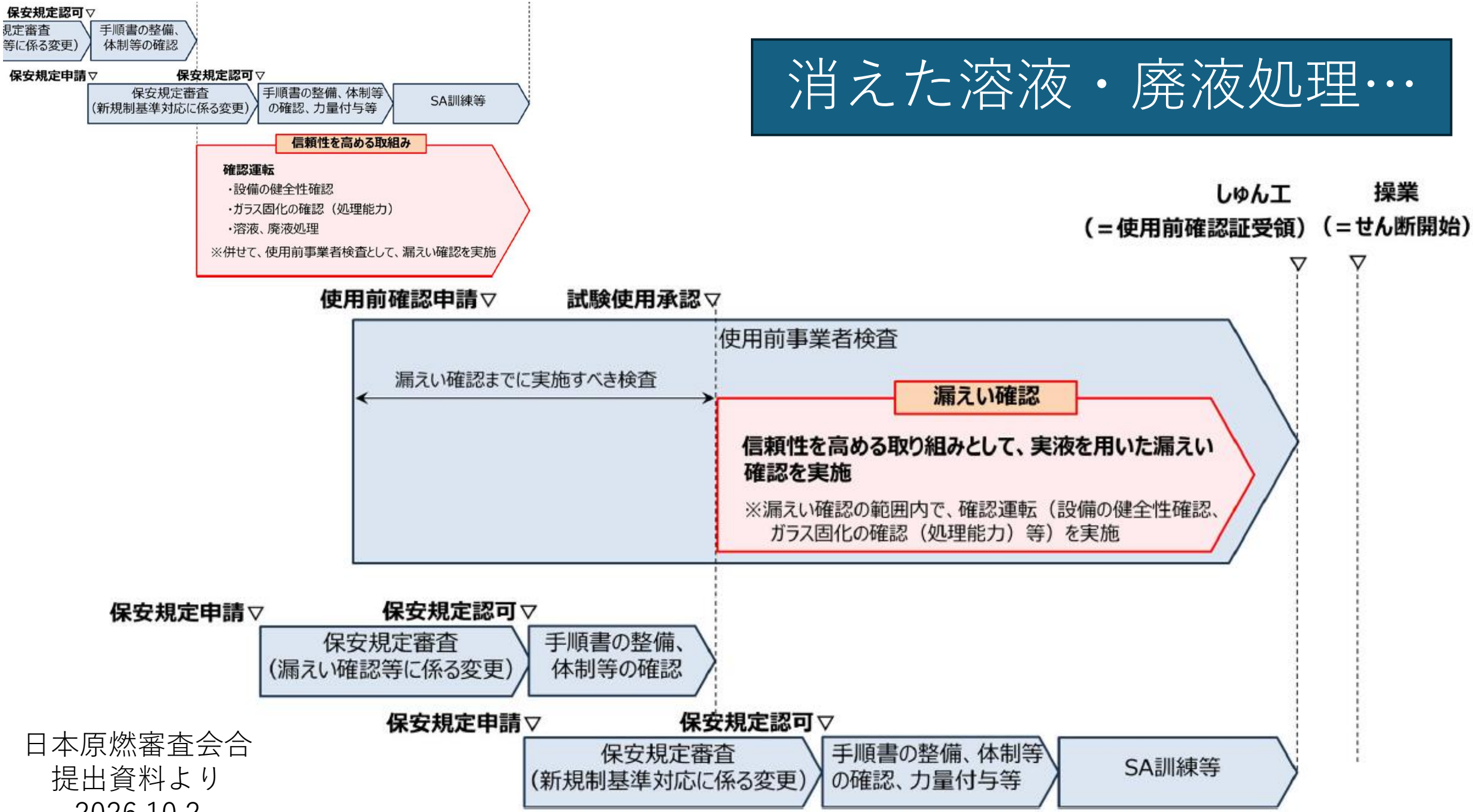
東京新聞 9 /2　HPより



FoE Japan
HPより

竣工前の全量の廃液処理を要求

消えた溶液・廃液処理…



日本原燃審査会合
提出資料より
2026.10.2

共同利用・関電の受入れを拒否していた

関電の使用済み核燃料受け入れの「可能性はゼロ」 青森県むつ市長が本紙インタビューに明言

2021年4月27日 12時00分

福井県に立地する関西電力の原発から出る使用済み核燃料を巡り、関電が搬出先の「選択肢のある青森県むつ市の宮下宗一郎市長（41）が26日、オンラインで本紙のインタビューに応じ使用済み核燃料を受け入れることについて「可能性はゼロだ」と明言し、協議の余地はないと文、高野正憲）

東京新聞HPより
2021.4.27

核燃料サイクルと青森県 国・事業者への影響力

1995年４月　木村知事
- 高レベル廃棄物の六ケ所村初搬入で、輸送船を接岸拒否

→田中真紀子科学技術庁長官が本県を最終処分地にしないと確約



2012年９月　六ケ所村議会
- 再処理路線見直しに対抗し、使用済み核燃料の村外搬出意見書可決

→民主党政権がサイクル政策継続

2020年12月　宮下むつ市長
- むつ中間貯蔵施設を電力各社で共同利用する電事連構想に強く反発

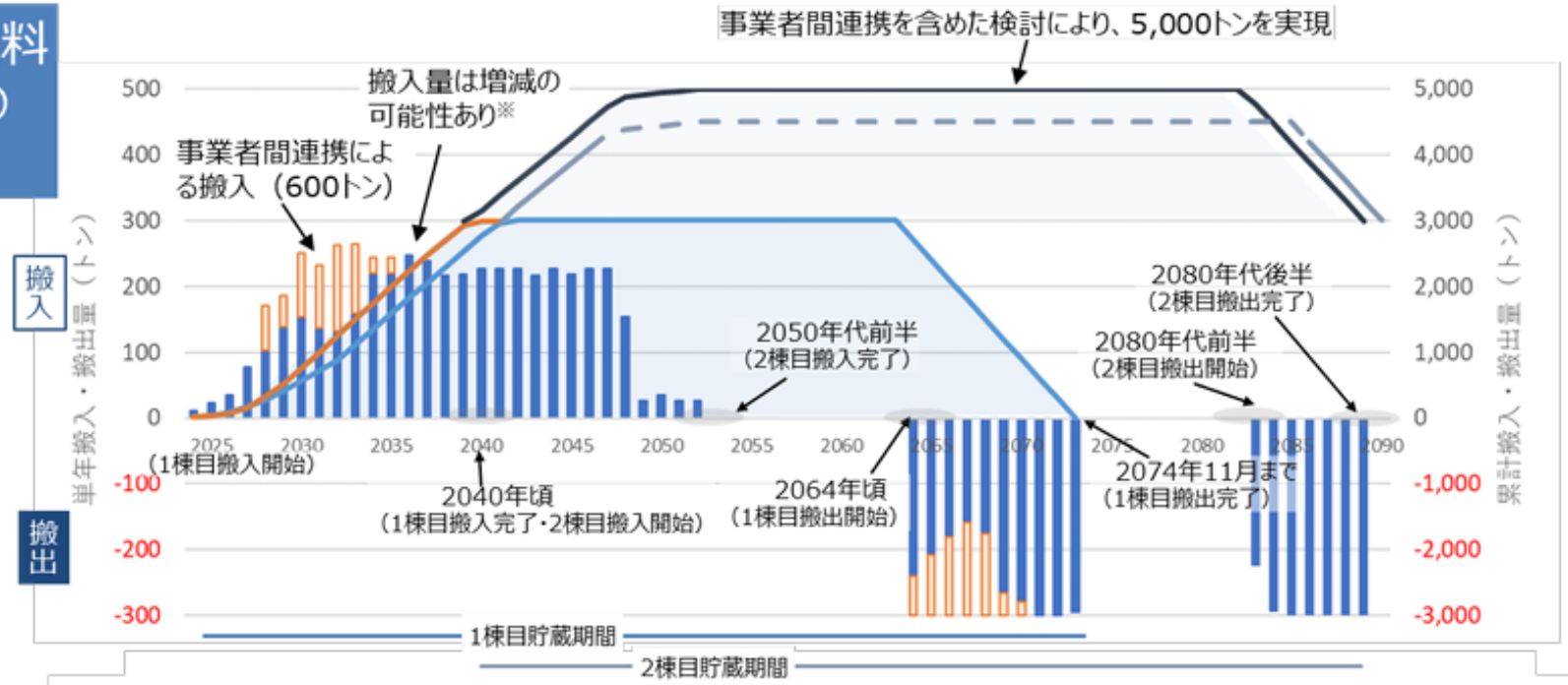
→電事連構想が宙に浮く

2026年３月　宮下知事
- 再処理工場審査遅れを理由に、中間貯蔵施設への核燃料搬入を容認せず

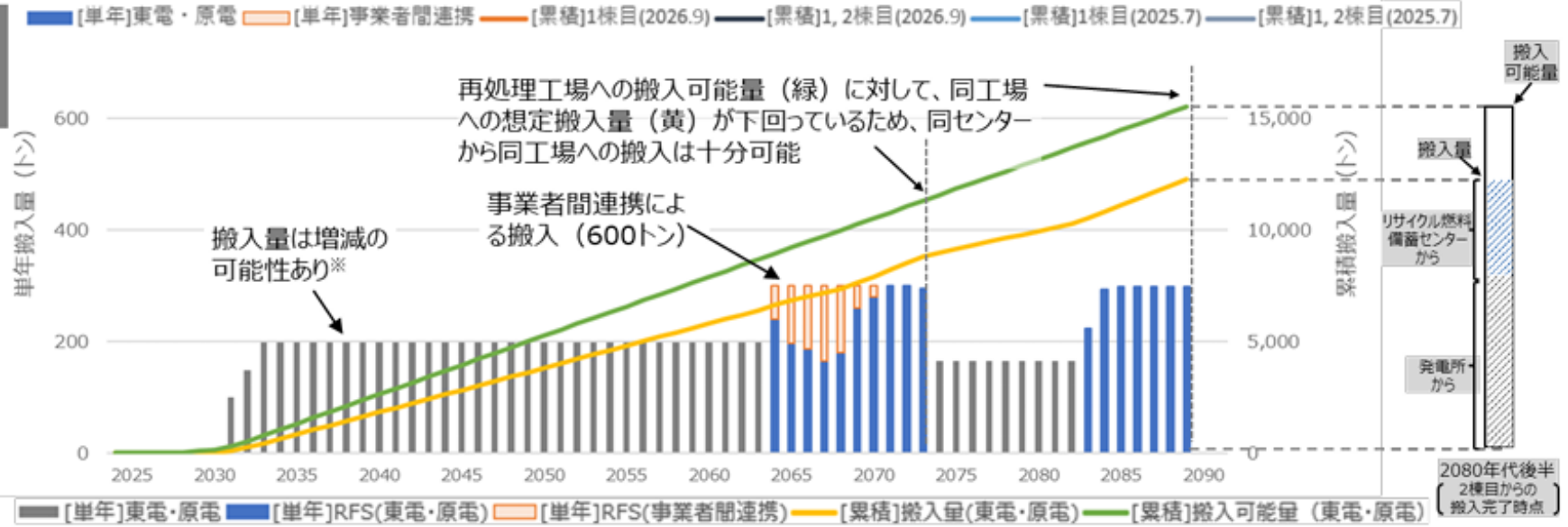


朝日新聞HPより
2026.3.2

RFSリサイクル燃料備蓄センターへの搬入・搬出



日本原燃再処理工場への搬入



※ 毎年の搬入量は、警備当局との調整、キャスク輸送に係る人員・資機材の確保、六ヶ所再処理工場の稼働状況や搬入量の電力間調整等によって今後増減の可能性あり。

むつ市議会
HPより